

自己実現から未来の創造者へ



福岡県立小倉高等学校のホームページをご覧ください誠にありがとうございます。

本校は明治41年に、福岡県立小倉中学校として創立され、今年度で創立115年目を迎えます。初代校長伊東尾四郎先生は学問を通じて人間を作るという信念の下、勤勉第一主義をモットーとされ本校の礎を築かれましたが、以来一貫して、教職員・生徒のたゆまぬ努力、地域の方々のご支援により、県内有数の進学校としての道を歩んできました。

本校の社会的役割、すなわちスクールミッションの中では、本校が目指す学校像を「より良い未来を創るため、生涯学び続け、社会や他者へ貢献できる人材を育成する学校」と定義しています。また、本校が目指す生徒像として「絶えず自分の道を模索し、自己実現に努め、将来を切り開く気概と他者への思いやりの心を持つ生徒」を掲げています。

本校は「文武両道」「質実剛健」を校是とし、「勉学」「創造」「規律」「勤労」「敬愛」の校訓のもと、日本を牽引するリーダーの育成に努め、幾多の有為な人材を輩出してまいりました。平成17年度から令和3年度の長きにわたってSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、先進的な理数教育を実践するとともに、大学との共同研究や、国際性を育むための取組、創造性・独創性を高める授業を実施してまいりました。現在は令和の時代をたくましく生き抜く生徒を育てるため、小倉高校独自の教育活動を展開すべく教職員が一丸となって取り組んでいるところです。

近年、インターネットとスマートフォンの急速な普及により、人々の意識や行動の範囲が時間や場所を越えて、世界的な広がりを持つようになりました。このような中で、求められている人材は、異文化を理解し、広い視野を持つグローバル人材です。語学が堪能なだけでなく、異なる言語、異なる文化、異なる価値観を乗り越えて良好な関係を構築するためのコミュニケーション能力を備えている人材です。

世界に通用するコミュニケーション能力を体得し、失敗を恐れず果敢に挑戦する倉高生を育てていきたい。日本国内だけに目を向けるのではなく世界的視野に立って物事を考えることができる人材、自己実現にとどまるのではなく、明るい未来の創造者たる人材を育成していきたい。そのために小倉高校は生徒の「伴走者」として師弟同行を実践し、できる限りの支援をしていきたいと考えております。

結びに、本校の更なる充実・発展のため、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年4月
福岡県立小倉高等学校
第28代校長 石川 一仁